

昭和 SPレコードで辿れば

「東亜の音楽」と大東亜共栄圏

SPレコード収集家 ■ 城内 實

段に過ぎないものなのだろうか。

(一)

筆者は毎年恒例の紅白歌合戦というものをほとんど(テレビで)見たことも(ラジオで)聞いたこともない。ところが、昨年の大晦日にたまたまテレビでやっていたのでしばらく見ていたら、妻が「まるで小学校の芸会みたいね」と言つた。学芸会とはうまいことを言うものだなど感心した。

歌い手は派手な舞台演出でなんとか歌手の歌唱力のなきをカバーしているとしか思えないような有様であり、さながら素人のど自慢大会のようであった。まあこれはこれで大衆娯楽として楽しめば良いのであろう。が、果たして音楽とは単にその場しのぎの動物的快楽を得る手

筆者は軍事歌謡のSP盤も蒐集しているが、比較的数は少ないがたまに歌詩も曲調も勇ましいだけほんと動物的で野蛮とも言えるような曲に出くわすことがある。例えば昭和十七年二月にキングレコードから発売された大政翼賛会制定の「進め一億火の玉だ」のレベルは、作詩及び作曲が大政翼賛会となつてゐる。それにもかかわらず、歌い手は

「ヴォーカル・フォア合唱団」と英米語を平然と使つているところがなかなか興味深い。戦局が悪化の一途を辿った昭和十九年後半頃に出た曲であれば、「火の玉四人組」というような名前が付けられたであらう。

(二)

筆者は動物的快楽が得られる曲を必ずしも否定するものではない。こういった曲を歌つたり

聴いたりすることで当人のカルシスが得られればそれはそれで結構なことだと思う。

のレコードを聴いてみた。するとそれぞれの曲に単なる娛樂を越えた神秘的なを感じた。生まれて初めて日本の雅樂を聴いた時と同じ感覺であつた。

参考までに「東亜の音楽」一枚組二十曲の内訳は次の通りである。

一、満洲

①雅樂「蟠桃會」、②雅樂「山壯春曉」

二、中華民國

①琴歌「陽關三疊」、②管絃合奏「太湖船」、③劇曲「楊貴妃」、④太鼓詞「玉堂春」

三、蒙古

①合唱「聖成吉思汗」、②古歌「ジャンケンの歌」、③古歌「牧羊の歌」

四、ジャヴァ

①民謡「黄金の雨」、②雅樂「スカルガドン」、③戯曲「キンナンチ・マドムルチ」

五、バリ島

①影繪芝居「スレンドロ」、②宗教祭樂「プロン・ペング

六、泰國

年が明けて「東亜の音楽」という昭和十六年十月、内閣情報局と大政翼賛会の推薦で日本コロムビアより発売された十枚組

- ①歌曲「王姫の美を讃へる
歌」、②古戯曲「ラーマーヤ
ーナ」

七、印度

- ①絃樂器ヴィナ獨奏「ターナ
ム」、②管樂器クマーリ獨奏
「ラガスタラサ」、③宗教歌
「バイラービ」

八、イラン（舊波斯）
波斯民謡

（注・日本コロムビアよりCD
の復刻盤が入手可能。）

（四）

この「東亞の音樂」は昭和十
年に設立された東洋音樂学会の
会員であつた田邊尚雄氏が監修
したアジア民族音樂の名盤集で
あり、當時としては画期的な企
画であつた。

手元にあるレコードの解説書
は、七十頁にも及ぶ極めて學術
的価値の高いものである。解説
書の中で監修者の田邊氏はこの
レコードを編集した理由を、次
のように述べている。

「然るに茲にドイツに於てホル
ンポステル博士の編輯した『東

洋の音樂』全十二枚の名盤集を
入手することを得たが、之れは
從來世界に唯一つ存在する東洋
音樂レコードであるにも係らず、
之れを驗するにその大部は單に
外國人の異國趣味又は、怪奇趣
味に過ぎないことを見て實に遺
憾に堪えない感を持つた。」

「今日我が日本は東亞共榮圏の
新文化建設といふ一大使命を持
つて居る。それには先づ第一に
東亞各民族の固有文化の眞相を
明らかに知ることが必要である。
(中略) 然るに我が國民の大部
分は、遠い西洋の音樂について
は、殆ど西洋人と同じ位に熟知
して居るけれども勿論此のこ
と自身は決して悪い事ではない
一我が日本自身のこと及び其の
周圍間に迫つて存在して居る
所の（所謂隣組である所の）我
が東洋の音樂に就いては、殆ど
何も知らぬと言つてもよい程、
それに關する知識を持つて居な
い。」

確かに今でも、アジア近隣諸
国との融和を表面的には唱えな
がらも、日本を含めたアジア文



「東亞のレコード」の解説書
の中では、永井道雄の父であり、民
政黨の幹事長や第一次近衛内閣
の通信大臣等を務めた大政翼賛
会東亞局長の永井柳太郎が次の
ような推薦の言葉を書いている。
「このアルバムを手にした人
は直ぐ氣づかれる事と思ふが、
その何れの曲を聞かれても、そ
れが全然耳新しいものではなく、そ
れがどこかで聞いた事があるナと云
ふ感じである。全くこれは内地

しかし、それでも「東亞の音
樂」を真剣に聴く者は、西洋音
樂とは異なる、アジアの民族音
樂の底流にある共通の徳性、神
性に胸を打たれるであろう。

（続く）